

(社)日本原子力学会 バックエンド部会による
海外発表助成



募集要領

【2004年4月1日改訂】

1. 趣旨

バックエンド部会は核燃料サイクルバックエンドに関する研究活動を支援する目的で、若手研究者の海外発表に関し渡航費滞在費を助成します。

2. 候補者の資格

- (1) 制度利用時にバックエンド部会員である方。特に厳格な年齢制限は設けませんが、本制度の主旨から35歳程度以下の研究者を優先します。なお、バックエンド部会員になるためには日本原子力学会員であることが必要です。
- (2) 海外で開催される会議等で、その主催者の審査を経て研究成果の発表を行う方。口頭発表、ポスター発表を問いません。なお、日本国内で開催される国際会議等への海外滞在者の参加も助成の対象となります。
- (3) 過去に本助成を受けたことのない方

3. 助成内容

外発表助成金額は一人13万5千円を限度とし、往復旅費、会議参加費、宿泊費に該当する分を助成します。他組織から支給される場合は、不足分があれば不足分を本部会より支給いたします。

4. 助成対象人数及び申し込み受付期間

半期あたり1名程度です。

上期分： 毎年2月10日 申込締め切り

下期分： 毎年8月10日 申込締め切り

5. 選考方法

バックエンド部会にもうけられた海外助成選考小委員会（運営委員、または、運営委員会が認めた委員で構成）が選考します。なお、助成額に限りがありますので、他組織から支給されない場合で、支援に値するケースの優先度が高くなります。また、他組織から支給される場合は、不足分があれば不足分を本部会より支給いたします。

6. 選考方法

本助成が決定した申請者には、上期分は2月25日、下期分は8月25日までに本人に直接連絡いたします。

7. 提出書類

応募時に以下の書面を提出して下さい。なお、選考過程でこれ以外の書面の提出をお願いすることもあります。

応募時に提出するもの

	提出書類	補足	様式
1	助成申請書		本要綱の 添付様式
2	会議案内の写し	Announcement や Call for Paper など。	自由 (A4 用紙)
3.	発表要旨	既に提出した場合には、その写し。	自由 (A4 用紙)
4	発表許可を 証明する 書類の写し	会議側からの受理を示す書面。プログラムの写しでもよい。 応募締め切りに間に合わない場合でも、選考対象とし、資格を得た場合は「内定」とする。	自由 (A4 用紙)
5	本研究・発表の 意義	当該分野における位置付けや独創性など。	自由 (A4 用紙)

海外発表後 (可及的速やかに) 提出するもの

	提出書類	補足	様式
6	参加の証拠 となる書類 等の写し	査読済の最終稿、または別刷一部。	自由 (A4 用紙)
7	帰国報告書	部会誌『原子力バックエンド研究』誌へ「国際会議参加記」として掲載。掲載料は不要。同じ内容を本ホームページにも掲載。	部会誌の「投稿規定・投稿の手引き」に従って下さい。

8. 申請書類提出先、問い合わせ先

バックエンド部会の庶務担当運営委員まで提出、お問い合わせください。庶務担当委員の連絡先は部会ホームページを参照してください。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/aesj/backend/>

申請者	申請日	年 月 日
氏名（ふりがな）		
生年月日	西暦 年 月 日生まれ	
所属機関 名称		
職位		
所在地	〒	
電話番号	TEL:	FAX:
e-mail		
学歴・職歴及び 研究活動歴		

渡航目的

参加会議名（英）		
（和）		
発表論文題名（英）		
（和）		
渡航先 （国・都市名、会場名）		
渡航期間・日程		
希望助成額		
他機関への助成申請を している場合、 その機関名と優先順位		
上司または指導教官の 推薦文および押印		
推薦者名		印